

# 全国鐵構工業協会青年部会 会長会議

## 第2部 グループディスカッション

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (A)

### 共通テーマ

- ・ 10代～30代にFABの業界を広めていきたい。  
(共通の広告ポスターなどを全青会が作成し各青年部に配る)
- ・ 各青年部から写真や動画を収集し、全青会のSNSで公開してもらう。
- ・ 若者にアプローチしていくやり方を、面倒ととらえず、常に新しい情報を収集し、新しい考え方を持って活動していきたい。

### 選択テーマ

- 1 を選択択
- ・ ハイスキップ構法を構造設計者と共に勉強会をおこなった。  
(実際に設計変更が通り、数物件件での実績を作れた。)
  - ・ BIMを、活用していく為に構造設計者との話し合いをおこなっている。
  - ・ 3Dスキャナーを使用するの測量。BIMに変換したい。

### その他

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (B)

### 共通テーマ

1. 鉄骨 1 1 0 番を冊子化して、ファブの解らない事を構造設計に対して明確にしていきたい。
2. 労働時間（休日日数、1日の労働時間）社員数別に調査を行って欲しい。
3. 社員に対しての福利厚生について、他社はどのくらい充実しているか調査を行って欲しい。
4. 全国での工場内事故 ケガの事例を冊子にまとめ、ヒヤリハットを作成して欲しい。

### 選択テーマ

1. 人材の離職を防ぐ対策として、新入社印面談時に S P I 診断という心理テストを行い、あらかじめ新入社員の特徴を把握しておく。また月 1 回個人面談を行い、社員が会社に対し不満が溜まらない様にガス抜きを行う。
2. 青年部同士で鋼材の在庫量や仕事の山積み状況が解る様な、アプリを開発して欲しい。

### その他

青年部会員が減少傾向にある県が多いように思われる。対策としては親会に青年部会員への入会を促してもらい、活動内容を冊子にして、親会の総会時に配る等の方法を行い、いかに青年部活動を行っているか見える化するのが大事だと思います。

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (C)

### 共通テーマ

- ・次世代の子供達につなげる。
- ・鉄骨を教える教育の機会が少ない。
- ・宮崎県の専門学校へ条件付きで入学させる。(資格を多く取得し即戦力となる)
- ・知名度が低い・3Kのイメージを変えたい
- ・1年に1回全国各地で集まり、地元の子供たちにアピール
- ・鉄骨関係のテレビがあると知名度があがるのでは
- ・親会との温度差が大きいと思う。
- ・人手不足の中で親会との連携をはかり考えていく
- ・全青会として、全国でスポーツチームを作ってみてはどうか(宣伝になるので)全国各地の会社から選手を集めて
- ・各社の状況(山積みや空き)、得意分野とかがわかる一覧を作成して、見える化するのはいかがでしょうか
- ・グレード取得や更新の注意点等を知らせる
- ・マニュアル化(詳細のマニュアル)動画等で
- ・各地方で専門学校を作るために働きかけ
- ・eラーニングの活用・テレビCM作成

### 選択テーマ

- ②・図面チェックの期限を明確に記載し(工程表提出)連絡を密に行う
  - ・物価高騰に対して手当を支給
  - ・多能工化、すべての工程を経験し覚えてもらう
- ③・会員にはHグレードが入るべき、仕事の繋がりや技術を学ぶ為、下位グレードが入会してくる

### その他

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (D)

### 共通テーマ

AW検定は難しいし、維持費も高額な為、エンドタブ講習会が認められるように力を入れてほしい。

### 選択テーマ

FAB業界が抱える問題

- ・採用難：地域ごとに学生は他の業界に取られたり、単価の高い企業に引っ張られる
- ・海外研修生は数年で帰国してしまい、コロナ期は、引き続きができず、次期研修生受入時に苦勞した。研修生を継続できるように陳情してもらいたい。
- ・働き方改革で残業時間対応も大変だが、従業員の時短意識をUPすることで、従業員の間々と協力して生産性を向上していかなければならない。
- ・人事評価制度について、コンサルを入れて見直しされた良い事例がありました。  
(クラス6段階、年次の昇給枠決め、昇給はその予算内で振り分けなど)
- ・原価管理は一般的なソフトでは対応しきれない、やはり自社で多くの物件データを独自で参考に作成したもの、感覚的なものが大事ではないか。  
FABに対応した、原価管理ソフトを全構協で開発できないか。

### その他

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (E)

### 共通テーマ

- ・ 青年部として分野を問わず、一つのテーマを共通認識の上、足並みを揃えて何らかの取り組み組を行いたい。(例：土日休みなど)
- ・ 小さい会社だと、人材教育などの課題になかなか取り組めていないのが現実。そういった内容の教育事例などを紹介して欲しい。

### 選択テーマ

- ・ ブロックとして情報共有は出来ているが、隣県であってもブロックが違えば全く情報がないので、ブロックの垣根を越えて、様々な情報共有ができるツールを作って欲しい。
- ・ 青年部、全青会きっかけで在庫や仕事量などの実態が分かるツールがあれば、水平展開できる。
- ・ 青年部会員の実態調査を試みる。  
例) 社長⇒親、親族、第3者  
青年部会員⇒社長の子、親族、第3者など

### その他

- ・ 鳥取県が復会したことで、現在は熊本県のみ所属していない。熊本県の復会を目指し、九州ブロック、全青会のイベントを熊本県で行ったり、熊本県にメリットがある様な内容を盛り込みながら問題解決をして、復会して貰えるような雰囲気づくりをして、復会の後押しをしていきたい。

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (F)

### 共通テーマ

- ・ 経営に必要なノウハウを学ぶ勉強会を行ってほしい。
  - ・ 構造設計者に対して業界としてアプローチできないか。
- (JASS6という製作基準があるのに構造設計者により考え方などのバラツキが大きい)
- ・ 技術向上の講習会を充実および新しい技術にふれる機会を増やして欲しい。

### 選択テーマ

- ①
  - ・ 交流事業において参加されている構造設計者と参加していない構造設計者とでは、鉄骨製作に対する見解に違いがある為、統一のフォーマットを作成するよう働きかけて頂きたい。
- ②
  - ・ 人材について海外実習生を活用しているが、他国の好条件により日本へ入りにくくなっているのが現状です。
  - ・ 社員本人は基より、その家族に対してのフォローも必要になってきている。  
(具体的には家族の健康診断も会社で負担するなど)。
  - ・ 社員の賃金テーブルを具体化して給与に反映している。
  - ・ 人材流出を防ぐため、資格取得費用および更新料などは全額会社負担にしている。

### その他

- ・ 県によっては地区ごとに支部があり、そちらでの結束が強く県全体として青年部の一体感にかける。

## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (G)

### 共通テーマ

北陸ブロックと中部ブロックの統合ができないか、検討して欲しい。

業界の地位向上の為に出来ることをより多く提案、発信して欲しい。

各県青年部会の会員維持と増やす為の検討。

### 選択テーマ

②

人材育成と外国人実習生の活用方法(FABでの成功例などを教えて欲しい)

また、外国人実習生とのコミュニケーションの取り方等の周知。

図面の遅延、建て方の遅延はFAB側から防ぐ方法の検討。(追加工事の請求等)

材料単価、納期については組合でのコントロールは難しい為、増えすぎた材料のサイズ、材質について、組合で統一し、使用推奨リスト作成して欲しい。

そのリストが浸透すれば、加工難度の低減、鋼材の発注リスクの低減等、組合にとってもメリットが大きい。

### その他



## グループ討議記入用紙 テーブル番号 (H)

### 共通テーマ

- ・ 現在は1年に1度の交流ですが、（年に2回）程度は全国の方と交流したい。
- ・ ノズルチップのような社会貢献・SDG s の事業は継続していき業界のPRにつなげたい。
- ・ 全青会と各県会長とのつながりが多くなる事業をして欲しい。
- ・ 各地の状況や情報を知りたいので発信してほしい。（単価の話しは幅が大きいので必要ない）

### 選択テーマ FAB業界のかかえてる問題・この先の改革」

- ・ 人手不足の問題が大きく、小規模な会社では1人の負担が大きくなっているため海外実習生を頼っていきたい。
- ・ SNSを活用して人材確保につながった例もあるので若者に興味ある情報発信が必要。  
(いきなり建築鉄骨の加工をするのではなく、鉄製品でできたモニュメントやアニメのキャラクターをのせて関心を持たす。)
- ・ フレキシブルな働き方  
(パートさんを多く採用し就業時間も9時～3時までとしている。)  
(パートさん同士でグループを作り、穴が開かないように話し合っ出勤を調整してもらっている)

### 「県青年部・ブロック活動の問題」

- ・ 会員数の減少（賛助会員も青年部に加入してもらい、役員にもなっている）
- ・ 活性化するように（月1回の役員会・イベントで家族参加のクリスマス会などおこなっている）

### その他